

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年7月26日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	出雲市	代表者名	出雲市長 飯塚俊之
担当者部署	総務部	連絡先電話番号	0853-21-6527
担当者役職	係長	担当者氏名	竹内 洋
		連絡先E-mail	
住所	693-8530 島根県出雲市今市町70番地		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	前田 みゆき
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	7/26(月)に実施予定のオンラインによる講演の事前打合せであったが、本市からの制度活用に至る経過や背景等の説明に対し、熱心に耳を傾けていただきました。また、講演実施にあたり、依頼した要望すべてについて、ご対応いただけるお返事もありました。 また、メールでのやりとりについても、迅速な応答をいただき、事務処理もスムーズに行うことができました。
アドバイザーへの要望事項	特にありません。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年7月19日	13時30分	13時50分		20
	派遣形態	講演(オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】 出雲市職員	人数 3人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	本市DX推進に係る取組を進めるにあたっては、市職員及び市議会議員のデジタルリテラシーの向上が急務であると考えている。今後、国のデジタル庁創設に伴いデジタル化の動きが大きく加速していく中で、国の動向やそれに伴い市町村が取り組むべき事柄を正しく理解する必要がある。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	市職員及び市議会議員が、DXに関する国の動向やそれに伴い市町村が取り組むべき事柄について同時に学ぶことで、お互いに共通認識をもって施策の立案や実施に取り組んでいけるようにしたい。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	なし(今回は、事業実施に向けての事前打合せ)	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	なし(今回は、事業実施に向けての事前打合せ)	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 なし(今回は、事業実施に向けての事前打合せ)	⑦その他
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	なし(今回は、事業実施に向けての事前打合せ)	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 なし(今回は、事業実施に向けての事前打合せ)	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
事業の最終的な目指す姿	今回の助言等も踏まえながら、今後も計画的に職員研修等を実施してデジタルリテラシーの向上を図っていく。そして、職員自身がDXに関して正しく理解し、施策の立案等ができるようにしていきたい。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。